

しゅう ねん き ねん し かん こう

アマゾン80周年記念誌刊行!

記念出版会に多数が来場

「貴重な出版物」と好評



出版記念会で。左から高木社長、山田さん、深沢編集長、堀江デスク、飯星連邦下議

本紙、日系書店などで販売中!

ニッケイ新聞によるアマゾン日本人移民80周年記念誌『アマゾン—日本人移民80周年』(271頁、日ポ両語)の出版記念会が14日夜、日本移民史料館9Fで開催された。飯星ワルテル、安部順二連邦下議らをはじめ、日系団体関係者ら多くが来場、ベレンからは山田フェルナンド氏(Y・YAMADA副社長、全伯スーパーマーケット協会会長)も駆けつけた。深沢正雪編集長はあいさつで「書きながら涙が出るような話がたくさん。これを読めば子孫はきっと誇り感じ150周年を祝いたいと思うはず。子どもたちの机の中に、そっと入れてほしい本」と一読を勧めた。

本紙編集部が2009年にベレン、トメアス、マナウス、パリンチンスなどアマゾン各地であった記念式典をカラー写真で紹介、主要な日系移住地の歴史や現状を詳細にレポートした連載記事を中心に構成されている。表彰者の一覧もあり、記録としても貴重な一冊となっている。

ポ語監修を担当した移民史研究家の大井セリアさんは「緑の地獄」で生き抜く人間のエネルギーに満ちた姿を見せてくれる本。日本語を読めない人たちにも、日系社会に関する新しい発見をもたらしてくれる」と賞賛。安部、飯星両議員も移民史の記録における同書の重要性を強調した。

17歳でトメアスに入植、伯父が同地の組合長だった押切フラビオさん(山形県人会会長)は「移住地のことが詳細に書かれていて、とても懐かしかった。やはり、生きていくうちに記憶を後世に残すことは大切」と語り、祖父が同書に登場する山田さんは「移民の業績を認識してもらおうという我々の長年の夢が、今日実現しつつある。これは、他に類のない価値ある本だ」などと感想をのべ、出版を喜んだ。

高木ラウル社長の乾杯の音頭で食事会に移った。プッフエは、サウイデ区にあるレストラン

「トメアス」が用意。参加者らは、豆の代わりマンジョツカの葉を煮込んだマニソバ、クプアスのムース、アマゾンの

野草ジャンプ入り寿司などの珍しい郷土料理に舌鼓を打ちながら談笑した。

価格は70レアル。
ニッケイ新聞社
(11・3340・6060/マリア)、ブラジル日本移民史料館(同・4・3399)まで。
3209・5465)、太陽堂(同・3207・6367)、フォノマギ竹内書店(同・3104・3399)まで。

Lançamento do livro “Amazônia - 80 anos de imigração japonesa na Amazônia”

O livro com 271 páginas, em japonês e português, está à venda no Jornal Nikkey Shimbun (Diretor-Presidente Raul Takaki) e nas livrarias nipo-brasileiras.

O evento ocorreu no Museu de Imigração Japonesa, no dia 14, à noite.

Estavam presentes os Deputados Federais Junji Abe e Walter Ihoshi, além de outras autoridades da comunidade.

O livro conta as trajetórias emocionantes dos imigrantes, no “Inferno Verde” .

Nikkey Shimbun, 21.6.2013.